

■e-黒板ニュース（第10号）：e-黒板とe-教科書

日常的に、ごく普通に、授業でITが活用されるようになるには、「教具としてのe-黒板」と「教材としてのe-教科書」の普及が突破口になるのではないかと考えています。

今年度のe-黒板研究会は、ワーキンググループの内の1つの活動として、IT活用教材標準化委員会の協力を得ながら、「e-教科書研究会」を設置し活動していく予定です。今回は、e-教科書関連の動向をお知らせします。

今号の目次：

- =====
1. イベント報告：e-教科書シンポジウム開催される
 2. 会員からの投稿：光村『国語デジタル教科書』体験版が進化しました！
- =====

お友達への再配信またはご紹介は、ご自由にどうぞ。また、配信中止のご連絡もお願いします。

会員の皆様からの投稿もお待ちしています。
宛先はいつでも ekokuban@cec.or.jp です。

1. e-教科書シンポジウム開催される

（会員の原久太郎さんから、e-教科書シンポジウムのご報告がありましたので掲載します。また、このシンポジウムはCECが後援しました。）

8月19日、日本教育情報学会において「e-教科書シンポジウム」が開催されました。十文字学園女子大学井口磯夫教授の司会で、05年からの教室環境に合わせて教育方法も変化していく状況で、e-教科書（デジタル教科書）がどのように現場に提供されるのかを、開発者と現場教員とで討議を行いました。

光村図書の小学校国語、大日本図書の小学校理科、算数、教育出版の中学校社会科のe-教科書開発者から、それぞれのe-教科書の特徴や開発の背景について報告があり、ITEM（IT活用教材標準化委員会）事務局の木村氏からe-教科書ガイドライン策定の方向についてレポートがありました。

群馬県小野上小学校の上原永護先生からは、算数・数学を例にして、現場教員も共に教材研究ができるような標準化を推進して欲しいということが、具体的な例をもとにして提案されました。

台東区立桜橋中学校の石出勉先生からは、まず教科書をスクリーンに提示して、動くと思うところで動いてくれるe-教科書を求めているが、今日の報告をみるとそれらが実現されている。05年4月には全教科で動く教科書が提供されることを望むと。

シンポジウム終了後も、パネラーと参加者とがカフェテラスで議論を続けていました。

（IT活用教材標準化委員会代表：原 久太郎）

2. 会員からの投稿：光村『国語デジタル教科書』体験版が進化しました！

（会員の黒川弘一さんから投稿がありました。企業のみなさんからの投稿もお待ちしています。）

ポスト2005年の「教育の情報化」においては、e-黒板とe-教科書が果たす役割は極めて大きいと言えます。ごく自然に「デジタル教科書」を活用しながら授業が始まり、児童の意欲が喚起され、意識が集中し、次第に熱気を帯びて、学びが深まり広がっていく。それは、ことさらIT活用を謳った特別な授業のための整備ではなく、基本的な学習環境の整備として、今後、教育現場から強く求められていくものと思われる。

光村『国語デジタル教科書』は、そんな2005年以降の国語授業を見据えて開発された、プロジェクタ等の教材提示装置に対応した教授用ソフトウェアです。本ソフトには、教科書の忠実な再現とともに、文や挿絵・写真の拡大表示、教材の朗読や書き込み機能、漢字の筆順アニメーションの他、学習の展開や発展に必要な資料やデジタルコンテンツなど、国語の授業に必要な学習情報を搭載しています。主たる教材である教科書を提示することは、理解度の向上だけではなく、学習情報の共有化による授業の活性化を促進していきます。児童が持つ紙媒体の教科書と併用することで、より大きな教育的効果を上げることができるのです。

さて、本ソフトは、これまでに現行版教科書対応の体験版をお届けしてまいりましたが、幸いにも多くの先生方から高いご評価をいただくことができました。そして今回寄せられた貴重なご感想やご指導をもとに、さらに機能を進化させた新版教科書対応の「体験版VOL. 2」が完成いたしました。

教科書のイメージをそのまま投影した「教科書ビュー」から、クリックひとつで本文や挿絵の拡大画面を呼び出す機能を新たに搭載し、スムーズな授業展開の実現にこだわりました。また、パソコン操作が苦手な先生方にもすぐにお使いいただけるよう、シンプルなインターフェースにもより磨きをかけました。さらに、電子情報ボードを活用される場合の操作性にも配慮しています。

すでに体験版をお試しいただいた先生も、そうでない先生も、ぜひ一度この機会にお試し下さい！

教育委員会または学校等の教育関係者の方は、光村図書ホームページ（光村チャンネル）より送付のお申し込みができます。（送料無料）

http://www.mitsumura-tosho.co.jp/kyoka/kokugo/S_digital/index.asp

（光村図書出版：黒川弘一）

以上

=====
編集・発行：財団法人コンピュータ教育開発センター 関 幸一、南 仁
メールアドレス： ekokuban@cec.or.jp
=====